



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月28日

上場会社名 株式会社 長野銀行
コード番号 8521 URL <http://www.naganobank.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役頭取
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総合企画部長
四半期報告書提出予定日 平成28年2月10日

(氏名) 中條 功
(氏名) 岩垂 博
特定取引勘定設置の有無 無

TEL 0263-27-3311

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 経常収益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第3四半期 | 17,252 | △1.7 | 3,029 | 10.0 | 1,946 | 16.5 |
| 27年3月期第3四半期 | 17,556 | △5.5 | 2,753 | △33.2 | 1,670 | △36.2 |

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △435百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 10,758百万円 (782.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 | |
|-------------|-------------|-------|--------------------|-------|
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第3四半期 | 21.63 | 18.39 | 18.39 | 15.78 |
| 27年3月期第3四半期 | 18.57 | 15.78 | 15.78 | 13.21 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|-----------|--------|--------|-----|--------|---|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | % |
| 28年3月期第3四半期 | 1,113,259 | 58,803 | 58,803 | 5.2 | 5.2 | |
| 27年3月期 | 1,110,678 | 59,693 | 59,693 | 5.3 | 5.3 | |

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 58,236百万円 27年3月期 59,141百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 2.50 | — | 3.00 | 5.50 |
| 28年3月期 | — | 2.50 | — | — | — |
| 28年3月期(予想) | — | — | — | 3.00 | 5.50 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 | |
|----|-------|------|-----------------|-------|------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | 円 銭 |
| 通期 | 3,150 | 15.4 | 2,050 | △24.1 | 22.79 | 22.79 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は(添付資料)2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は(添付資料)2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|--------|--------------|
| 28年3月期3Q | 92,578,366 株 | 27年3月期 | 92,425,306 株 |
|----------|--------------|--------|--------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 28年3月期3Q | 2,508,186 株 | 27年3月期 | 2,589,861 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 28年3月期3Q | 89,984,806 株 | 27年3月期3Q | 89,927,956 株 |
|----------|--------------|----------|--------------|

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 2 |
| (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 2 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 6 |
| (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 6 |
| 4. 平成28年3月期 第3四半期決算説明資料 | 7 |
| (1) 損益状況(単体) | 7 |
| (2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示 | 9 |
| (3) 自己資本比率(国内基準) | 10 |
| (4) 時価のある有価証券の評価差額(単体) | 10 |
| (5) 預金・貸出金等の残高(単体) | 11 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結経営成績につきましては、経常収益は、銀行業務における資金運用収益及び国債等債券売却益が減少したことなどから、前年同期比3億4百万円減少して172億52百万円となりました。一方、経常費用は、与信関係費用が減少したことなどから、前年同期比5億79百万円減少して、142億23百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比2億75百万円増加して30億29百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2億76百万円増加して19億46百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末における財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末比25億81百万円増加して1兆1,132億59百万円となり、純資産は、前連結会計年度末比8億90百万円減少して588億3百万円となりました。

連結ベースの主要勘定につきましては、預金（譲渡性預金を含む。）は順調に推移し、前連結会計年度末比75億11百万円増加して、1兆278億66百万円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末比19億40百万円減少して、5,947億56百万円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比66億99百万円減少し、4,166億48百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、現時点においては、平成27年11月13日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第3四半期会計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

イ 会計方針の変更

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下、「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下、「連結会計基準」という。）、及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下、「事業分離等会計基準」という。）等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当行の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

ロ 会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 現金預け金 | 40,136 | 40,968 |
| コールローン及び買入手形 | 30,120 | 40,000 |
| 有価証券 | 423,347 | 416,648 |
| 貸出金 | 596,696 | 594,756 |
| 外国為替 | 1,054 | 788 |
| リース債権及びリース投資資産 | 11,759 | 11,652 |
| その他資産 | 4,182 | 3,720 |
| 有形固定資産 | 10,077 | 10,836 |
| 無形固定資産 | 1,286 | 1,195 |
| 退職給付に係る資産 | 721 | 810 |
| 繰延税金資産 | 110 | 112 |
| 支払承諾見返 | 1,701 | 1,695 |
| 貸倒引当金 | △10,516 | △9,924 |
| 資産の部合計 | 1,110,678 | 1,113,259 |
| 負債の部 | | |
| 預金 | 1,017,604 | 1,026,996 |
| 譲渡性預金 | 2,750 | 870 |
| 借入金 | 5,399 | 2,820 |
| 社債 | 5,300 | 5,300 |
| 新株予約権付社債 | 2,997 | 2,967 |
| その他負債 | 7,512 | 7,105 |
| 賞与引当金 | 404 | 103 |
| 退職給付に係る負債 | 410 | 415 |
| 役員退職慰労引当金 | 12 | 9 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 71 | 57 |
| 偶発損失引当金 | 214 | 226 |
| 繰延税金負債 | 6,603 | 5,890 |
| 支払承諾 | 1,701 | 1,695 |
| 負債の部合計 | 1,050,984 | 1,054,456 |
| 純資産の部 | | |
| 資本金 | 13,001 | 13,016 |
| 資本剰余金 | 9,665 | 9,680 |
| 利益剰余金 | 19,042 | 20,476 |
| 自己株式 | △795 | △765 |
| 株主資本合計 | 40,913 | 42,407 |
| その他有価証券評価差額金 | 17,967 | 15,599 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 260 | 228 |
| その他の包括利益累計額合計 | 18,228 | 15,828 |
| 新株予約権 | 111 | 110 |
| 非支配株主持分 | 440 | 456 |
| 純資産の部合計 | 59,693 | 58,803 |
| 負債及び純資産の部合計 | 1,110,678 | 1,113,259 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 経常収益 | 17,556 | 17,252 |
| 資金運用収益 | 11,964 | 11,498 |
| (うち貸出金利息) | 8,012 | 7,638 |
| (うち有価証券利息配当金) | 3,874 | 3,779 |
| 役務取引等収益 | 937 | 946 |
| その他業務収益 | 4,367 | 4,338 |
| その他経常収益 | 287 | 468 |
| 経常費用 | 14,803 | 14,223 |
| 資金調達費用 | 1,072 | 904 |
| (うち預金利息) | 791 | 730 |
| 役務取引等費用 | 1,001 | 1,048 |
| その他業務費用 | 3,512 | 3,802 |
| 営業経費 | 8,232 | 8,299 |
| その他経常費用 | 984 | 168 |
| 経常利益 | 2,753 | 3,029 |
| 特別損失 | 10 | 72 |
| 固定資産処分損 | 6 | 69 |
| 減損損失 | 3 | 2 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,743 | 2,956 |
| 法人税等 | 1,060 | 993 |
| 四半期純利益 | 1,682 | 1,963 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 12 | 16 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,670 | 1,946 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,682 | 1,963 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 9,090 | △2,368 |
| 退職給付に係る調整額 | △15 | △31 |
| その他の包括利益合計 | 9,075 | △2,399 |
| 四半期包括利益 | 10,758 | △435 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 10,745 | △452 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 12 | 16 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません

4. 平成28年3月期 第3四半期決算説明資料

(1) 損益状況(単体)

- 経常収益は、資金運用収益及びその他業務収益の減少等により、前年同期比5億7百万円減少し、130億12百万円となりました。
- コア業務純益は、資金利益の減少等により、前年同期比3億38百万円減少し、25億92百万円となりました。
- 業務純益は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が戻入超過となり一般貸倒引当金の戻入超過額を臨時収益に計上したこと、及び国債等関係損益が減少したこと等により、前年同期比10億46百万円減少し、25億67百万円となりました。
- 経常利益は、不良債権処理額の減少等により、前年同期比2億85百万円増加し、29億3百万円となりました。
- 四半期純利益は、前年同期比3億1百万円増加し、19億1百万円となりました。

(単位：百万円)

| | 平成28年3月期 第3四半期 (9ヶ月間) (A) | 平成27年3月期 第3四半期 (9ヶ月間) (B) | 対前年同期 (A-B) |
|-----------------|------------------------------------|------------------------------------|----------------|
| 経常収益 | 13,012 | 13,519 | △507 |
| 業務粗利益 | 10,566 | 11,148 | △582 |
| 資金利益 | 10,705 | 10,908 | △203 |
| 役務取引等利益 | △136 | △88 | △48 |
| その他業務利益 | △2 | 329 | △331 |
| 経費(除く臨時費用分) | 7,999 | 7,917 | 82 |
| うち人件費 | 4,091 | 3,927 | 164 |
| うち物件費 | 3,473 | 3,564 | △91 |
| 実質業務純益 | 2,567 | 3,231 | △664 |
| コア業務純益 | 2,592 | 2,930 | △338 |
| 一般貸倒引当金繰入額 | — | △382 | 382 |
| 業務純益 | 2,567 | 3,613 | △1,046 |
| うち国債等関係損益(5勘定戻) | △25 | 300 | △325 |
| 臨時損益 | 336 | △994 | 1,330 |
| うち不良債権処理額 | 11 | 598 | △587 |
| うち株式等損益(3勘定戻) | 211 | △1 | 212 |
| 経常利益 | 2,903 | 2,618 | 285 |
| 特別損益 | △71 | △9 | △62 |
| 税引前四半期純利益 | 2,832 | 2,609 | 223 |
| 四半期純利益 | 1,901 | 1,600 | 301 |

平成28年3月期
通期業績予想
(12ヶ月間)

3,000

3,800

3,100

2,000

(注) 1 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2 主な損益項目について、平成28年3月期(通期)予想に対する進捗率は次のとおりとなっております。

| | |
|--------|-----|
| コア業務純益 | 86% |
| 業務純益 | 67% |
| 経常利益 | 93% |
| 四半期純利益 | 95% |

<ご参考>

与信関係費用

イ 平成28年3月期第3四半期累計期間(9カ月間)においては、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が戻入超過となりましたので、戻入超過額を臨時収益の貸倒引当金戻入益に計上しております。

(単位:百万円)

| | 平成28年3月期 第3四半期 (9カ月間) | 平成27年3月期 第3四半期 (9カ月間) | 対前年同期比 |
|------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------|
| 一般貸倒引当金繰入額① | — | △ 382 | 382 |
| 不良債権処理額② | 11 | 598 | △ 587 |
| うち個別貸倒引当金純繰入額 | — | 587 | △ 587 |
| 貸倒引当金戻入益③ | 127 | — | 127 |
| 償却債権取立益④ | 0 | 0 | 0 |
| 与信関係費用 = ① + ② - ③ - ④ | △ 117 | 215 | △ 332 |

ロ 上記金額を臨時収益に計上しない場合は、以下のとおりとなります。

(単位:百万円)

| | 平成28年3月期 第3四半期 (9カ月間) | 平成27年3月期 第3四半期 (9カ月間) | 対前年同期比 |
|------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--------|
| 一般貸倒引当金繰入額① | △ 354 | △ 382 | 28 |
| 不良債権処理額② | 237 | 598 | △ 361 |
| うち個別貸倒引当金純繰入額 | 226 | 587 | △ 361 |
| 貸倒引当金戻入益③ | — | — | — |
| 償却債権取立益④ | 0 | 0 | 0 |
| 与信関係費用 = ① + ② - ③ - ④ | △ 117 | 215 | △ 332 |

(2) 金融再生法ベースの категорияによる開示

(単体)

| | (単位:億円) | | (参考) (単位:億円) |
|-------------------|-----------|-----------|--------------|
| | 平成27年12月末 | 平成26年12月末 | 平成27年9月末 |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 67 | 77 | 61 |
| 危険債権 | 137 | 130 | 136 |
| 要管理債権 | 6 | 7 | 9 |
| 合計 | 210 | 215 | 207 |
| 金融再生法開示債権比率 | 3.48% | 3.55% | 3.48% |

(注) 1. 上記の各四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の categoryにより分類しております。

算出方法については、各四半期末を基準日として「自己査定基準」に基づき自己査定を実施して算出しております。

(参考) 自己査定債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権 (実質破綻先、破綻先の債権)

危険債権 (破綻懸念先の債権)

要管理債権 (要注意先のうち、元金又は利息の支払いが3ヶ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

2. 当行は、平成27年2月に㈱ながぎんビジネスパートナーズを吸収合併しております。このため、平成26年12月末は当行と㈱ながぎんビジネスパートナーズを合算した数値を記載しております。

<ご参考>

部分直接償却を実施した場合の金融再生法開示債権

(単体)

| | (単位:億円) | | (参考) (単位:億円) |
|-------------------|-----------|-----------|--------------|
| | 平成27年12月末 | 平成26年12月末 | 平成27年9月末 |
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 | 33 | 29 | 30 |
| 危険債権 | 137 | 130 | 136 |
| 要管理債権 | 6 | 7 | 9 |
| 合計 | 176 | 167 | 176 |
| 金融再生法開示債権比率 | 2.93% | 2.77% | 2.97% |

(注) 1. 部分直接償却とは、自己査定により回収不能または無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額および保証による回収が認められる額を控除した残額 (IV分類金額) を取立不能見込額として債権額から直接減額することです。当行は、部分直接償却を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上しております。

2. 当行は、平成27年2月に㈱ながぎんビジネスパートナーズを吸収合併しております。このため、平成26年12月末は当行と㈱ながぎんビジネスパートナーズを合算した数値を記載しております。

(3) 自己資本比率(国内基準)

| 平成28年3月末(予想値) | |
|---------------|---------|
| 連結自己資本比率 | 11.7%程度 |
| 単体自己資本比率 | 11.4%程度 |

(参考)

| 平成27年9月末(実績値) | |
|---------------|--------|
| 連結自己資本比率 | 11.74% |
| 単体自己資本比率 | 11.41% |

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)

(単位:億円)

| | 平成27年12月末 | | | | 平成26年12月末 | | | |
|---------|-----------|------|-----|----|-----------|------|-----|---|
| | 時価 | 評価差額 | | | 時価 | 評価差額 | | |
| | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | |
| その他有価証券 | 4,038 | 226 | 240 | 13 | 4,125 | 270 | 274 | 3 |
| 株式 | 150 | 68 | 68 | 0 | 140 | 58 | 59 | 0 |
| 債券 | 3,072 | 129 | 130 | 1 | 3,184 | 143 | 144 | 1 |
| その他 | 815 | 28 | 40 | 12 | 799 | 69 | 70 | 1 |

(参考)

(単位:億円)

| 平成27年9月末 | | | |
|----------|------|-----|---|
| 時価 | 評価差額 | | |
| | うち益 | うち損 | |
| 4,053 | 218 | 227 | 9 |
| 138 | 56 | 57 | 0 |
| 3,093 | 126 | 127 | 0 |
| 821 | 35 | 42 | 7 |

(注) 1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、各四半期末の帳簿価額(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。

2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。

(単位:億円)

| | 平成27年12月末 | | | | 平成26年12月末 | | | |
|-----------|-----------|------|-----|---|-----------|------|-----|---|
| | 帳簿価額 | 含み損益 | | | 帳簿価額 | 含み損益 | | |
| | | うち益 | うち損 | | | うち益 | うち損 | |
| 満期保有目的の債券 | 116 | △0 | 0 | 1 | 85 | △0 | 0 | 1 |

(参考)

(単位:億円)

| 平成27年9月末 | | | |
|----------|------|-----|---|
| 帳簿価額 | 含み損益 | | |
| | うち益 | うち損 | |
| 109 | △2 | 0 | 2 |

(5) 預金・貸出金等の残高(単体)

イ 預金

| | (単位:億円) | | (参考) |
|---------------|-----------|-----------|---------------------|
| | 平成27年12月末 | 平成26年12月末 | (単位:億円) 平成27年9月末 |
| 預金等(預金+譲渡性預金) | 10,293 | 10,288 | 10,238 |
| 預 金 | 10,284 | 10,285 | 10,224 |
| 長野県内預金 | 10,197 | 10,223 | 10,130 |
| 長野県外預金 | 87 | 62 | 93 |
| 個人預金 | 7,396 | 7,308 | 7,318 |
| 個人以外の預金 | 2,887 | 2,977 | 2,905 |
| 譲渡性預金 | 8 | 2 | 13 |

ロ 預り資産

| | (単位:億円) | | (参考) |
|----------|-----------|-----------|---------------------|
| | 平成27年12月末 | 平成26年12月末 | (単位:億円) 平成27年9月末 |
| 預り資産 | 649 | 704 | 672 |
| うち個人預り資産 | 630 | 676 | 646 |

<ご参考>

預金等・預り資産の合計残高

| | (単位:億円) | | (参考) |
|---------------------|-----------|-----------|---------------------|
| | 平成27年12月末 | 平成26年12月末 | (単位:億円) 平成27年9月末 |
| 預金等・預り資産合計 | 10,942 | 10,992 | 10,910 |
| うち個人預金・ 個人預り資産合計 | 8,026 | 7,985 | 7,964 |

(注) 預金等には譲渡性預金を含んでおります。

ハ 貸出金

| | (単位:億円) | | (参考) |
|-------------|-----------|-----------|---------------------|
| | 平成27年12月末 | 平成26年12月末 | (単位:億円) 平成27年9月末 |
| 貸 出 金 | 6,015 | 5,996 | 5,939 |
| 長野県内貸出金 | 5,653 | 5,643 | 5,584 |
| 長野県外貸出金 | 362 | 353 | 355 |
| 個人ローン | 2,023 | 1,988 | 2,014 |
| 個人ローン以外の貸出金 | 3,991 | 4,008 | 3,925 |